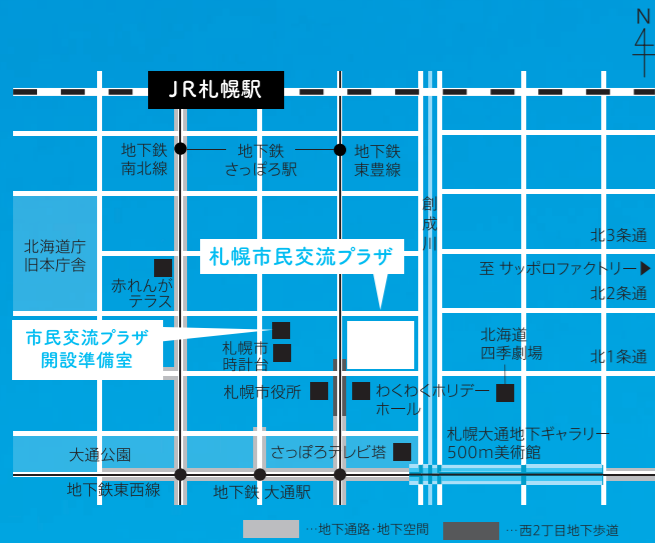


# 札幌市民交流プラザ SAPPORO COMMUNITY PLAZA



## 地下鉄「大通」駅直結！

札幌市中央区北1条西1丁目  
さっぽろ創世スクエア  
(札幌創世1.1.1区北1西1地区 再開発ビル・建設中)

札幌市民交流プラザ 情報誌 vol.1 発行 2017年8月10日  
発行元  
公益財団法人 札幌市芸術文化財団 市民交流プラザ開設準備室  
〒060-0001  
札幌市中央区北1条西2丁目1番地 札幌時計台ビル10階  
TEL:011-242-5800(8:45~17:15) ※土日祝・年末年始を除く  
©本誌からの写真・文などの無断転載を禁じます



札幌市民交流プラザ



<http://sapporo-community-plaza.jp>



# WAVE TIMES

札幌市民交流プラザ情報誌 vol.1

ココロが、  
マチが、  
動きだす。





ココロが、  
マチが、  
動きだす。

コミュニケーションシンボル

できました

人々の心に、小さなウェーブを。この街の文化に、新しいウェーブを。  
“札幌市民交流プラザがウェーブを起こし、この街の未来を動かしていく”という強いメッセージを、このシンボルマークに込めました。心を躍らせる、ワクワクを予感させるシンボルとして、これからの札幌の文化芸術シーンを先導していきます。

札幌市民交流プラザ

## 2018年10月OPEN!

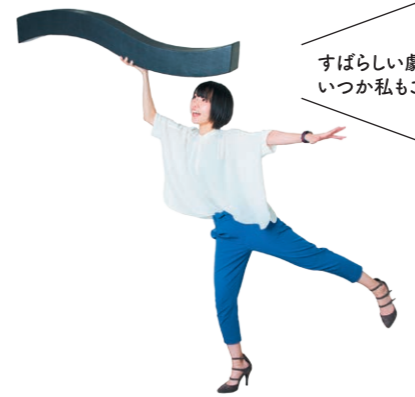
札幌文化芸術劇場  
(3F~9F)

札幌文化芸術交流センター  
(1F~2F)

札幌市図書・情報館  
(1F~2F)

大通公園のすぐ近く、創成川のせせらぎを感じる場所に、大通駅直結の新しい文化拠点が生じます。

ここは、オペラを鑑賞し、コーヒー片手に読書をし、気軽にアートにふれる…そんな感動と、憩いと、発見が集う場所。気になるその全貌を、ちょっとだけ覗いてみましょう。



すばらしい劇場!  
いつか私もここに…。

### 札幌文化芸術劇場

北海道初となる多面舞台、全2,300席を備える劇場が誕生。大規模オペラやバレエ、ミュージカルなど、これまで北海道では実現が難しかった公演が鑑賞できるように!



4階~9階が劇場。3階部分には小規模な発表会や演劇公演も可能な「クリエイティブスタジオ(大練習室)」も。

こんな劇場、  
はじめて!

注目を浴びる場で  
発表できて  
うれしいですね。



いろんな  
アートに  
出会える!

### 札幌文化芸術交流センター

演奏会や展示会は『オープンスタジオ』、ワークショップは『ワークスタジオ』、物販イベントは『クリエイティブモール』…など、活用の想像がふくらむスペースがずらり!



1階オープンスタジオ。演奏会や可動式の壁を使った作品展示などにも利用可能。

大好きなものづくりが  
できたらいいな〜。



### 札幌市図書・情報館

札幌の文化・芸術・歴史に関する書籍など、仕事や暮らしに役立つ資料をセレクト! 飲みものを片手にゆったりと読書を楽しめる街なか図書館です。



落ち着いた雰囲気の1階図書・情報館。ソファに座ってゆったり情報収集。

カフェみたいな  
図書館!?

どんな本が揃うか  
今から楽しみ!



安全第一。  
誇りと責任を持って  
建設中!



# 劇場は、都市のオアシスであり広場。そして創造力。

「札幌文化芸術劇場」の芸術アドバイザーに就任した尾高忠明さんが、5月30日、建設現場を視察しました。札幌交響楽団との長く深い関わりなどで札幌の市民気質や文化事情にも詳しい尾高さんに、「札幌文化芸術劇場」が持つ価値や可能性についてお聞きしました。

札幌文化芸術劇場  
芸術アドバイザー  
尾高 忠明



## ——工事現場を見て どんな印象を持ちましたか？

感銘を受けました。まず、どなたにとっても行きやすい、都心のど真ん中の立地。そして建物の4階から9階という高さを占める劇場の位置。ホワイエからテレビ塔が正面に見えて、西側には時計台がなんとも愛らしく見下ろせます。新鮮でした。この劇場ではオペラやバレエ、ミュージカル、演劇、クラシック音楽、ポップスなどさまざまなジャンルの公演が開かれますが、どんなプログラムでもまず質の高い音楽が奏でられると確信しました。空間デザインも現代的なもので、劇場文化の可能性が大きく広がると思いました。僕はKitaraで札幌と「ピーター・グライムズ」(ブリティッシュ作曲)などのオペラに取り組みました。しかしKitaraは客席がステージを囲むアリーナ型の

ホールですから、演出には字幕や映像がうまく使えない。こちらではその心配もなく、複雑な映像を駆使した演奏会も存分に開けます。Kitaraは、世界に名だたる音響をもつ音楽専用ホールとして、その個性をさらに活かしていけば良いと思います。この劇場でなら、表現者たちはいろいろな新しいことに取り組みます。逆に言えば、従来の演目をそのままやっても意味がありません。演出家



**プロフィール**  
1947年生まれ。71年にNHK交響楽団を指揮してデビュー。東京フィルハーモニー交響楽団常任指揮者、BBCウェールズ・ナショナル管弦楽団首席指揮者、読売日本交響楽団常任指揮者、札幌交響楽団音楽監督、新国立劇場オペラ芸術監督などを歴任。現在、札幌名誉音楽監督のほか、東京藝術大学名誉教授などを務めている。



## 札幌文化芸術劇場 芸術アドバイザー任命式が行われました

2017年5月31日、「札幌文化芸術劇場」の芸術アドバイザーに選ばれた尾高忠明さんの任命式が札幌市役所で行われ、札幌市芸術文化財団理事長の秋元克広から委嘱状が手渡されました。懇談の中で尾高さんは、「恵まれた立地と先進の施設を活かして、多くの市民に来ていただけるような企画を練っていければ」と語られていました。



建設中の現場視察に訪れた尾高さん。劇場の設備と進行状況について興味深く聞き入る。

にとっては、思い切った挑戦を動機づけるとても高いハードルが用意されたとも言えるでしょう。

その上で僕の仕事は、新国立劇場の芸術監督(オペラ部門)をはじめ、国内外のいろいろな劇場やホールでたくさんのアーティストたちと仕事をしてきた経験から、立ち上げのための様々なアドバイスをすることになります。僕が最初に札幌を指揮したのは20代だった1970年代初頭ですから、札幌とは40年以上の関わりがあります。自分は半分くらい札幌の身内だと思っているのです。

## ——「オペラはちょっと苦手…」と 感じている市民も多いかもしれません。

これまでは機会が少なかったので無理もありません。でもオペラは、シンフォニー(交響曲)の大曲よりもはるかに親しみやすい世界です。なにしろセリフがあって起承転結の物語があり、テーマの多くはロマンチックな恋愛。それを美しいメロディーが彩ります。上質なオペラを一度観たら、きっとはまってしまふ人がたくさん出てくるに違いありません。その意味で、うんと安いシートを設けるなど、気軽に観てもらうための仕掛けも大事ですね。比較にはなりませんが、僕がウィーンで学んだ時代(1970年代初頭)、国立歌劇場のいちばん安い学生立ち見席は1シリング、なんと17円くらいでした(笑)。また、本番

に先駆けてレクチャートークのような催しを繰り返し行うと良いと思います。ウィーン国立歌劇場でさえ、イオアン・ホーレンダーさんが総監督になった90年代から、その種の取り組みを実に意欲的に重ねてきています。強調したいのは、オペラでもバレエでも、上質なものをぜひ生で体験してほしいということ。DVDなどでは絶対に味わえないライブの息づかいや空気感を五感で受けとめると、心がふるえます。そうした体験を子どものころから重ねていくことが、まちの気風や文化の土台を作ります。僕は札幌の音楽監督時代、市内の小学校6年生全員に一度札幌を聴いてもらおうと、「Kitaraファーストコンサート」という取り組みをはじめました(2004年から継続中)。この劇場でもそういう企画があれば良いと思います。

## ——都心に劇場があることには どんな意味があるでしょう？

演奏会のお客さまの高齢化は世界的な現象です。幅広い世代が日常的に行き交う都心でオペラやバレエが演じられれば、僕たちと若い世代との接点も自ずと増えるでしょう。また劇場が入る「札幌市民交流プラザ」には文化芸術交流センターや図書・情報館もあり、さらには、たくさんの企業が入る高層棟もあります。つまり都心ならではの多様な機能が、お互いに刺激を受け合って創造力が高まっていく。市内のオペラやバレエの関係者の皆さんとも意見を交わしていますが、皆さんこの劇場の可能性を深く理解して真剣な取り組みがはじまっています。ここを舞台に、札幌発の文化芸術がさらに高いレベルへと進化していくことは間違い

ありません。市民の皆さんは、ぜひそこに注目して期待してください。また一方で、これまで来れなかった世界的なアーティストたちもやって来る。こけら落とし(2018年10月7・8日)の「アイダ」(ヴェルディ作曲)に登場するアンドレア・パッティストーニ(指揮)は、いま間違いなく世界でも注目される若手のひとりです。また「アイダ」は全国4つの劇場による共同制作ですが、この劇場は公共文化施設の新たな連携の場としても期待されています。ともあれ皆さんには、まず一度足を運んでいただいて、札幌の新しい可能性を実感してほしいと思います。そしてスタートはとても重要ですが、僕はアドバイザーとして、開館10年、20年、もっといえば100年先のビジョンを描けるようなお手伝いをしたいと思っています。劇場とは都市の文化のエッセンスでありシンボルであるからです。  
(文:谷口雅春)



観客席側にテレビ塔がのぞく、建設中ならではの光景。ステージから見つめる尾高さん。

# スゴイ!施設、作っちゃいます

『札幌市民交流プラザ』とは?

『札幌市民交流プラザ』は、1階・2階の『札幌文化芸術交流センター』『札幌市図書・情報館』、3階～9階の『札幌文化芸術劇場』からなる新施設。今回は中でも注目の『劇場』を紹介しします!



## 札幌文化芸術劇場

この劇場は、主舞台と同程度の舞台空間を、上手、下手、奥の3か所に持つ多面舞台となっています。これにより、大規模な舞台セットでも素早い転換が可能となり、多様な舞台演出での上演ができるようになります。また、舞台奥にプロジェクターを設置することで、裏からスクリーンに投影するリアプロジェクションも可能に。舞台芸術を支えるハイスペックな舞台設備は、創り手の想いを実現し、観る人の心の財産となる舞台を織りなします。

最先端の舞台設備を備える劇場で舞台技術を担当しています。皆様に夢の舞台をお届けできるよう、開館に向けて準備を進めています。



札幌市芸術文化財団 市民交流プラザ開設準備室 平野彩水さん



# 建設中の現場をご紹介します

吹き抜けなど、広い空間が特徴的な『札幌市民交流プラザ』は、鉄骨建方工事を効率良く進める為に「建逃げ方式」\*を用いて、順次北側から南側へ向かって工事を進めています。また、北側では、内装工事・仕上工事・設備関連工事に着手。完成に向けて毎日1,000人前後の作業員が尽力しています。



2017年6月27日の建設状況。劇場内の鉄骨が整ったところ。

\*建逃げ方式…1フロアずつ建てる一般的な「積上げ方式」とは違い、縦割りで一方向から建てる方法。

## 新ランドマーク建設、日々進行中

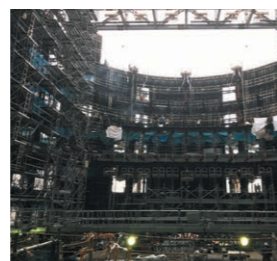
2015年の着工から約2年半。着々と工事が進む様子を見上げたことがある方も多いのでは?今回は施工に携わる大成建設の作業所長 金田亮太郎さんに現在の様子をお聞きました。

2017年5月26日



ステージから客席側(南側)を見るとテレビ塔が目前にそびえる。

2017年6月22日



テレビ塔が姿を消し、現れたのが客席後方の壁。劇場の広さがうかがえる。

『札幌文化芸術劇場』は建築方法もダイナミック。舞台エリアは、大型屋根(重量約180t!)はステージ上で組み立てたものを、特殊なジャッキで上方へリフトアップ。5フロアにまたがる客席エリアは、上下に行き来しながら施工する為、上下可動式の足場を使用するなど、大規模劇場ならではの建築方法がとられています。

市民の皆様が楽しみに待っていてくれる、この仕事に携われることに誇りを持って社員一同日々邁進しています。



札幌創世1.1.1区 北1西1地区新築工事作業所 作業所長 金田亮太郎さん (大成建設)

# もう、ワクワクは始まっています

オープンに向けてプレイベント開催中!

『札幌市民交流プラザ』の開館まで1年ちょっと。関連するプレイベントが続々と予定されています。北海道の、そして世界の文化芸術にふれるこの機会をぜひお楽しみください!

芸術鑑賞はハードルが高いと思われがちですが、生の迫力は格別!観る側としても、心待ちにしています。



劇団 『ディリバレー・ダイバース』 俳優 岩杉夏さん

## チケット発売中! アンドレア・パッティストーニ指揮×札幌交響楽団 世界が注目する天才若手指揮者が北海道初登場!

■9月15日(金) 18:15開場/19:00開演 ■札幌コンサートホールKitara大ホール



©Yoshinobu Fukayaaura.Y2

同世代の最も重要な指揮者の一人と評されているアンドレア・パッティストーニ。2013年1月よりジュネヴァ・カルロ・フェリーチェ歌劇劇場の首席客演指揮者、そして2016年10月、東京フィルハーモニー交響楽団首席指揮者に就任。本公演は、来年『札幌文化芸術劇場』のこけら落とし公演として上演される「アイダ」のプレイベント。ソリストには日本を代表するソプラノ歌手、木下美穂子さんをお迎えし、迫力ある演奏をお送りします。

### ●プログラム

- ヴェルディ: 歌劇「ナブッコ」序曲
- プッチーニ: 歌劇「ジャンニ・スキッキ」より“私のお父さん” 歌劇「修道女アンジェリカ」より“母もなしに” 交響的前奏曲
- ヴェルディ: 歌劇「トスカ」より“歌に生き、恋に生き” 歌劇「蝶々夫人」より“ある晴れた日に”
- ヴェルディ: 歌劇「運命の力」序曲
- レスピーギ: 交響詩「ローマの松」

●チケットに関するお問い合わせ Kitaraチケットセンター TEL:011-520-1234

## 札幌市民交流プラザ開館350日前イベント

■10月22日(日) 10:00~16:00 ■サッポロファクトリー

開館を約1年後に控え、『札幌市民交流プラザ』を紹介するパネル展示のほか、絵本の読み聞かせ、マリンバのコンサート、デザインをテーマにしたトークイベント、子どもが参加できるワークショップ等、開館後の事業をイメージした多彩なプログラムを展開します。



画像はイメージです。

## プレイベントスケジュール(予定)

- 2017年9月3日(日) まちなかコンサート(平岡イオン)
- 2017年11月5日(日) まちなかコンサート(北区)
- 2017年11月25日(土) まちなかコンサート(白石区)
- 2018年3月10日(土) バレエ入門講座
- 2018年3月頃 まちなかコンサート(南区)

## こちらもチェック!

予 告 あなたの「〜(ウェブ)」が マチを動かす、かも?



札幌市民交流プラザのコミュニケーションシンボル「〜(ウェブ)」と「ココロが、マチが、動きます。」というメッセージを大きなウェブにしていくなかに、あなたのココロを動かすモノやコト、風景・シーン等を撮影した写真や、「〜(ウェブ)」を使ったデザインを募集するSNSキャンペーンを実施します! (詳細はホームページ等でお知らせします)



詳しくはこちらへ 市民交流プラザ開設準備室 管理課 TEL:011-242-5800 <http://sapporo-community-plaza.jp>

貸館利用の 申込受付開始 (一般受付)

札幌市民交流プラザ内の開館後の貸室利用受付は、2017年9月1日(金)から行います。施設の空き状況は、ホームページまたはお電話でご確認ください。

カフェ・レストランの 運営事業者を 募集中です!

札幌市民交流プラザ内に、カフェとレストランを設置いたします。文化芸術の振興や地域のにぎわい創出を担っていただくカフェとレストランの運営事業者を募集しています。



イベント等の最新情報は、札幌市民交流プラザのホームページをCheck!

次号は10月頃の発行を予定しています。